

「歩く作業」から「乗る作業」へ！ 歩行型に比べ、約2倍の高効率で 大幅な省力化を実現。

作業はトレイを補給するだけの乗用全自動で、規模拡大・コスト低減に貢献。
走行は乗用車感覚の丸ハンドルとペダル変速でスムーズ操作。
一度乗ったら手放せない乗用全自動野菜移植機です。



国内3次排ガス自主規制対応エンジン搭載

PW20R PW20R,RS

1畦1条(同時2条)植え・1畦2条植え



作業の動画が
ご覧になれます。



■ RS仕様

後輪が車輪幅90mmのため、狭いうね溝幅でもうねを崩しません。

移植作業を大幅に効率化。



PW20R,RSでの作業

野菜トレイをセットするだけの 全自動同時2条植え。

歩行型全自動野菜移植機の約2倍の高効率作業が行えます。
しかも乗用型なので作業者の疲労も大幅に軽減されます。

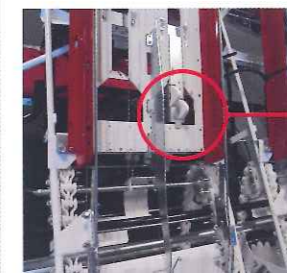
セル成型苗のトレイをセットするだけで、
自動でトレイから苗を1株ずつ引き抜き、
キレイに植付けます。



連続作業で能率アップ。

苗つぎ回数を少なくするため、野菜トレイは苗のせ台に4枚、予備苗台に12枚の合計16枚積載できます。

※空トレイは、予備苗台を折りたたむことで収納可能です。



センサー

センサーが苗つぎのタイミングを感知し、
警報ブザーでお知らせ。
トレイのセット忘れによる欠株の心配が
ありません。